

発足から5年が経過した原子力規制委員会について、第三者の立場にある人たちはどのようにみているのか。これまで規制行政に関する様々な問題提起を行ってきた政治家や識者に話を聞き、あらためて課題を明らかにしてもらった。4回に分けて紹介する。

(聞き手＝土井 啓史)



参議院議員(民進党)

浜野 喜史氏

中立性など問題

——国会の場で、原子力発電所の敷地内破砕帯を巡る議論の問題点について、一貫して追及してきた。

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

正面からの科学的議論を

「日本原子力発電敦賀発電所の評価では、報告書に対する原電の66の質問点の指摘を原子力規制庁が無視し続けているだけなく、報告書の最も重要な結論部分が、最終報告までに公開議論を経ることなく突如書き換え

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

「調査を行った有識者会合には法的根拠がないことに加え、過去に国の評価に関わった専門家を完全に排除するなど、委の構成の専門性や中立性に問題があった。議論を

例) 当選。

